

第 2 回 学校運営協議会実施報告

<p>1 実施期日 日程(時間)等</p>	<p>1 日 時 令和7年11月6日(木) 2 場 所 日立市立日立特別支援学校 3 参加者 学校運営協議会委員 8名 事務局 3名 4 日 程 (1) 授業参観 10:20~11:00 (2) 学校運営協議会 11:00~11:50</p>
<p>2 主な議事</p>	<p>1 前期学校評価の結果について 2 地域学校協働活動について 3 学校運営協議会委員からの意見</p>
<p>3 学校運営協議会委員からの主な意見</p>	<p>○授業は和やかに進められていた。教師が子どもたちのいろいろな思いを受け止めながら授業実践していた。 ○学校として、板書づくりに取り組んでいるのが分かった。高等部の授業では、「ニコカーニバル」に向けて目標を掲示しており、生徒も実際的で意識して取り組みやすいと感じた。 ○学校評価に、学校は勤務時間を守っていないと書いてあったが、誤解だと考える。支援員やボランティアなどいろいろな職員がそれぞれ違う勤務時間で子供の面倒を見てもらって助かっている。 ○学校評価において保護者の方がたくさん意見を入れているのに驚いた。厳しい意見も見られるが、そのような保護者は熱心の方と捉えて教育活動に活かしてほしい。 ○「教職員の肢体不自由児への理解が乏しい」という保護者の意見があったが、私は専門性より子供を以前から見てもらっている教師に見てもらいたい。先生方がよく見ていただいているのは重々承知している。 ○肢体不自由の保護者の方には、遠い専門の学校ではなく、それを承知で日特に入れてすまないという思いと、入ったからには見てほしいという思いがある。 ○本来は家庭で教えなければならないことを、何でも学校で教えてほしいというのは違うと考える。 ○避難所開設訓練にコミュニティと学校が協力して取り組めた。福祉避難所については、限定してハザードマップ対象の生徒だけでもいいのではないか。</p>
<p>4 協議事項・内容等</p>	<p>1 授業では、これからも児童生徒一人一人に応じた教材、教具を準備したり、教科書も活用したりしていく。授業で児童生徒に示すねらいや目標などは、他の学級(他班)でも共有していくとよい。 2 学校評価での保護者のアンケート回収率が、50%を下回る学部が見られた。今の時代、保護者もスマホ入力がほとんどであるから、今後も続けることで回収率は上がっていくのではないか。また、学校として、質問項目を絞ったり、調査期間を長くしたりするなど工夫をしていくのがよいのではないか。 3 特別支援教育の免許について、本校職員は、以前と違い保有者であることを保護者に周知して理解してもらうことも大切である。</p>
<p>5 学校運営協議会における決定事項</p>	<p>1 働き方改革は理解するが、他校でも体育祭や文化祭などは土・日に行っている。保護者の意見を来年度の行事編成に活かしていく。 2 今年度は学習指導要領に基づく教育課程の見直しを行っている。そこで「達人の授業」など、今まで行ってきた教育活動の廃止や見直しを保護者へ丁寧に説明していくことが必要である。 3 地域学校協働活動として、中学部の授業支援要請に対応していく。 4 今後、ノロ・インフルエンザ・コロナウィルスは増えていくので、朝のランニングの継続と20秒以上の手洗いを徹底していく。</p>

